

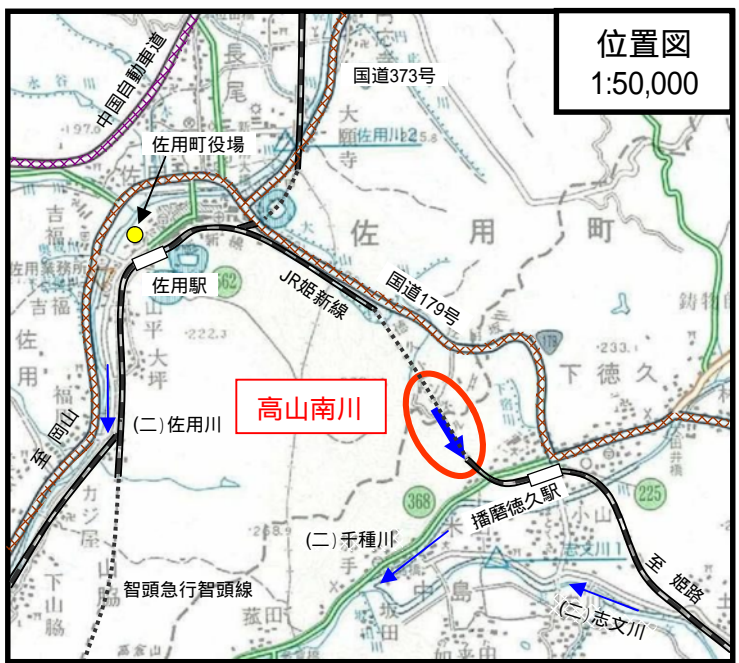
## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 たかやまみなみがわ 高山南川	佐用郡佐用町 しもとくさ 下徳久	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
佐用郡佐用町下徳久				H24	H26
事業目的			事業内容		
<b>土石流対策</b> 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家・JR等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)千種川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の土砂が流出するなど、荒廃が進行している。 ・溪床には不安定土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約5ha(長さ500m、最大幅400m程度)に及ぶ。 ・人家13戸、集会所(避難所)、県道吉永下徳久線、JR姫新線				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成21年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・地元要望も強く、周辺道路の利用に地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・県道やJRからの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。また、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・保全人家が多く、JR、県道の安全確保が重要であることから、早期着手に対する地元要望が強い。  以上より、H24年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

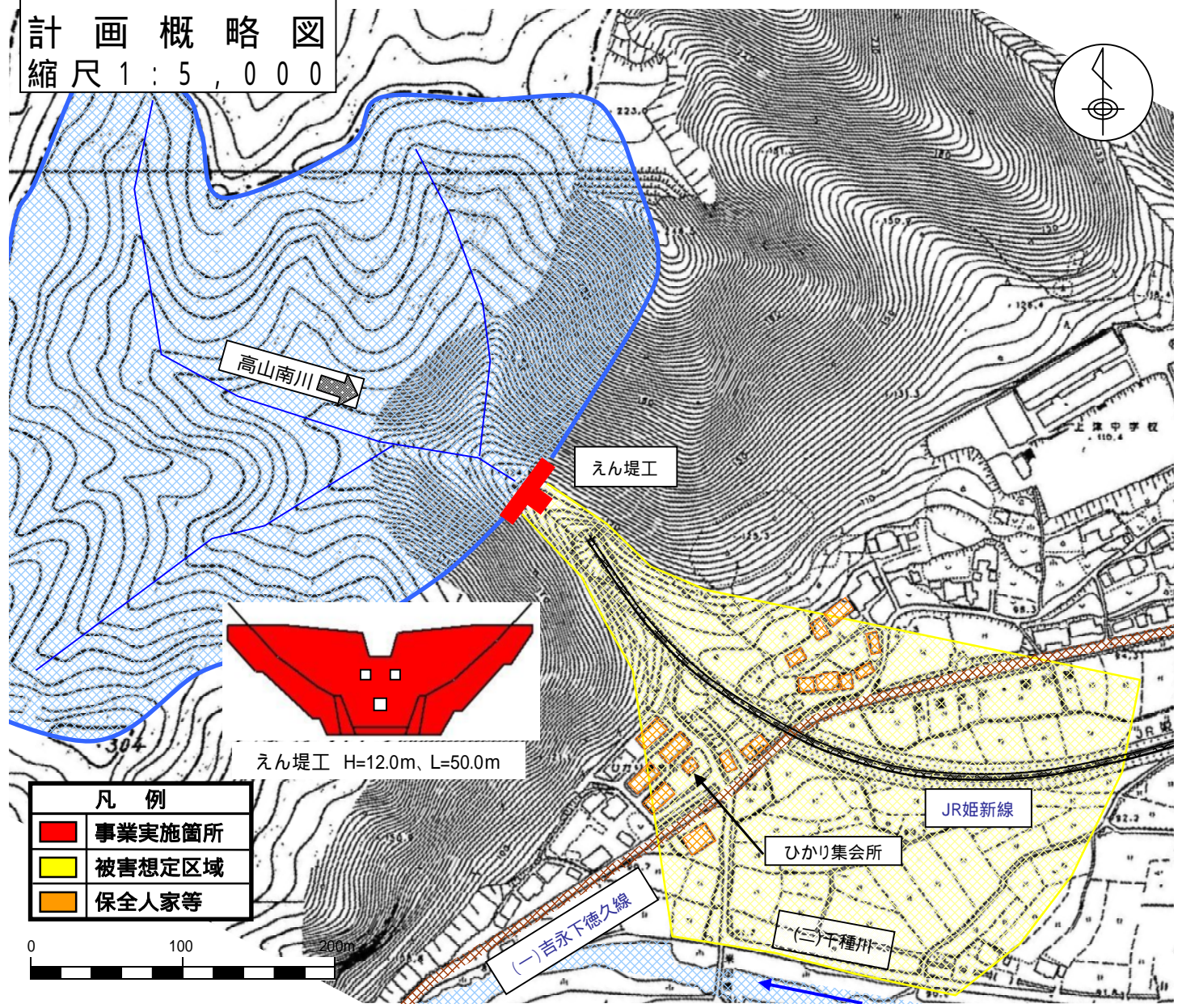
たかやまみなみがわ

# 高山南川

[ 佐用町 ]



計画概略図  
縮尺 1 : 5 , 0 0 0



凡例

	事業実施箇所
	被害想定区域
	保全人家等

